

NEO NEO PLUS MiniNeo

NEO / NEO plus / miniNEO

取扱説明書

安全にご使用いただくために



- *ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
- *お子様が使用される場合は、保護者の方が本書をよくお読みになり、万全なご指導をお願いします。
- *日頃の点検を怠ると、思わぬ事故や車いすの破損のおそれがあります。

はじめに

この度は、オーエックス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、お買い上げいただいた製品が十分にその性能・機能を発揮できるように、また、安全にご使用いただけるように、正しい取扱い方法や点検・整備などについて必要な事柄を記載してあります。車いすの取扱いを十分ご存じの方も、この製品独自の装備・取扱いがありますので、必ずご使用前に本書をよくお読みになっていただき、正しく、安全で、快適にご使用ください。また、お子様が使用される場合は、保護者の方と一緒に本書をお読みいただき、保護者の方の万全なご指導をお願いします。なお、本書は紛失しないように大切に保管してください。

* 本書を紛失してしまった場合は再発行(有料)いたしますので販売店、または下記までご連絡ください。

* お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

* 落丁・乱丁がありましたらお取替えいたしますので、下記までご連絡ください。

株式会社 オーエックスエンジニアリング 営業部 お客様ご相談窓口
〒265-0043 千葉市若葉区中田町2186-1
TEL043-228-0777/FAX043-228-3334

<シリアルナンバー表示位置>

アフターサービスについてのご相談に対しの確な判断・処置をするため、シリアルナンバーを正確にご連絡ください。なお、シリアルナンバーはメインフレーム右側及び保証書に貼られています。

あなたの車いすのシリアルナンバー



シリアルナンバーをご記入ください。

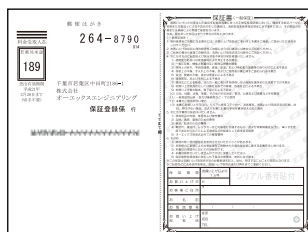
* 仕様変更や各機種共通仕様などにより図や内容が一部実物と異なる場合がありますのでご了承ください。

<付属品>

付属品は次の通りですのでご確認ください。

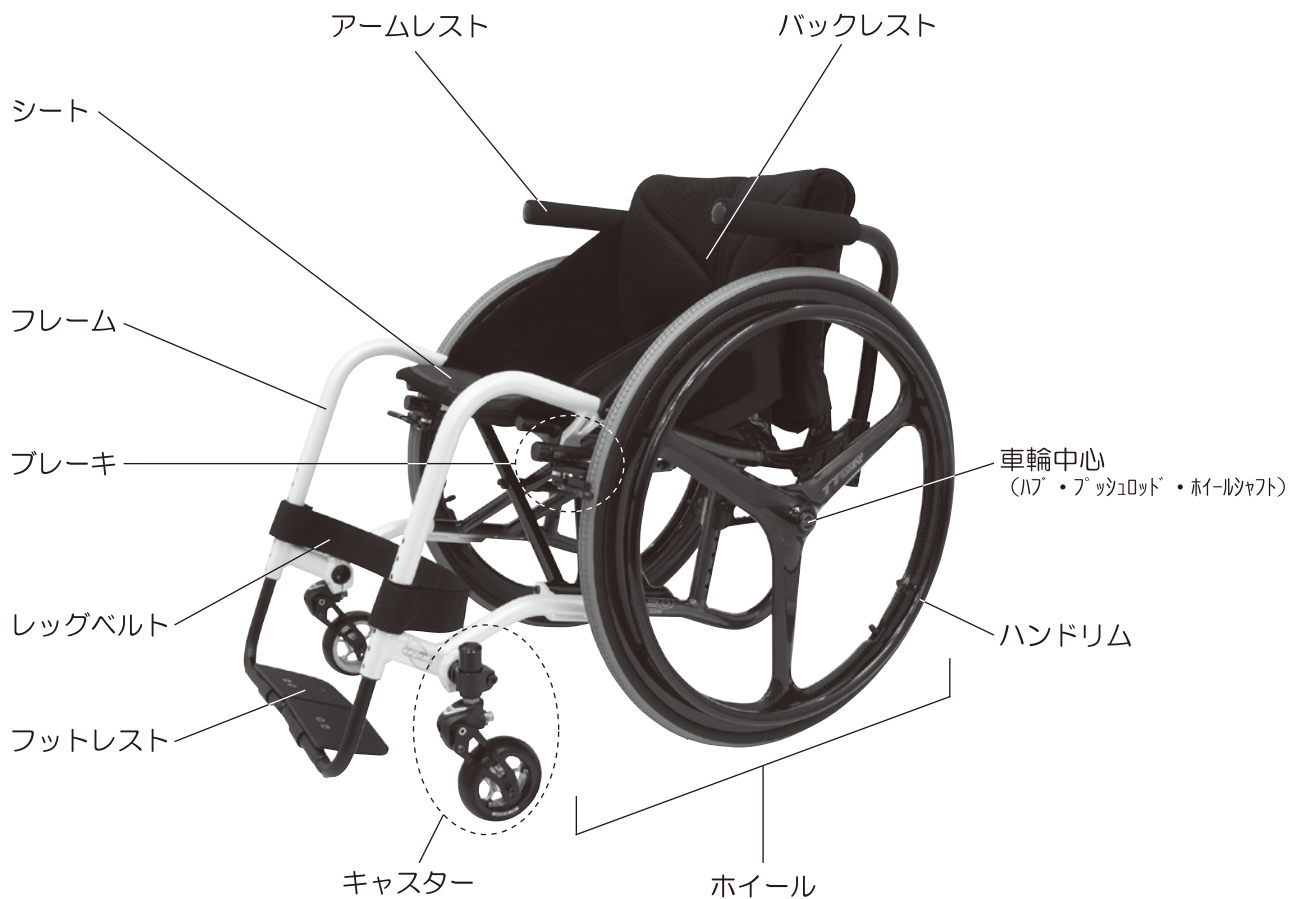


本書



保証書 / 延長保証登録ハガキ

<各部の名称>



○ はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 シリアルナンバー表示位置・・・・・・・・・・ 2
 付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 ○ もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 ○ 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

1章 総説

基本的な操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 お手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 保管について・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 調整・点検について・・・・・・・・・・・・ 12
 調整可能な箇所・・・・・・・・・・・・ 12

2章 車いすに乗る前に

車いすの折りたたみ
 折りたたむ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 開く・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 ホイールの着脱・点検
 ホイールの取外し・・・・・・・・・・・・ 16
 ホイールの取付け・・・・・・・・・・・・ 16
 ホイールの点検・・・・・・・・・・・・ 16
 ブレーキの種類・操作
 アジャスタブルブレーキ・・・・・・・・ 17
 ブレーキのかけ方・・・・・・・・・・・・ 17
 ブレーキの解除・・・・・・・・・・・・ 17
 ブレーキの調整・点検
 ダイアルアジャストの調整・・・・・・・・ 18
 アウターノブの調整・・・・・・・・・・・・ 18
 ノブボルトアジャストの調整・・・・ 18
 ステア取付け位置の調節・・・・・・・・ 19
 ブレーキの点検・・・・・・・・・・・・ 19
 バックレスト角度の調整・点検
 バックレストの角度調節 (NEO plus/miniNEO) 20
 バックレストの角度調節 (NEO) ・・・・・・・・ 22
 バックレストの点検・・・・・・・・・・・・ 22
 乗車・安全な介助
 乗車姿勢・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 安全な介助のために・・・・・・・・・・・・ 23
 介助ブレーキの調整・点検・操作
 介助ブレーキのロック・解除方法・・・・ 24
 介助ブレーキの調整・・・・・・・・・・・・ 24

3章 各部の調整・点検

フットレストの調整・点検
 フットレストの種類・・・・・・・・・・・・ 26
 フットレスト長の調節 (スリット) ・・・・ 27
 フットレスト長の調節 (ハイアウト) ・・・・ 28
 ハイマウントフットレストの調節可能範囲 ・・・・ 29
 フットプレートの角度調整・・・・・・・・ 30
 セパレートフットレストの角度修正・・・・ 31
 プレートセパレートフットレスト (ター) の操作
 開く・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
 戻す・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
 フットレストの点検・・・・・・・・・・・・ 32

バックレスト及びレザークラスの調整・点検
 アウターレザークラスの着脱 (NEO) ・・・・ 33
 アウターレザークラスの取外し (NEO plus/miniNEO) 33
 アウターレザークラスの取付け (NEO plus/miniNEO) 33
 ランバーパッドの交換 (NEO plus/miniNEO) ・・・・ 33
 ヒップレザークラスの取外し・・・・・・・・ 34
 ヒップレザークラスの取付け・・・・・・・・ 34
 サイドレザークラスの取外し・・・・・・・・ 35
 サイドレザークラスの取付け・・・・・・・・ 35
 インナーレザークラスの調整・・・・・・・・ 36
 インナーレザークラスの取外し・・・・ 37
 インナーレザークラスの取付け・・・・ 37
 バックレスト高の調整・・・・・・・・・・・・ 38
 シートレザークラスの張り調整・・・・ 39
 レザークラスの点検・・・・・・・・・・・・ 39

車軸位置の調整・点検
 前後調節穴の変更・・・・・・・・・・・・ 40
 後座高の調節 (アールブラケットの上下移動) ・・・・ 41
 トーナメントの修正 (miniNEOキャリバー付きのみ) ・・・・ 42
 ホイール取付け間隔の調整 (miniNEOキャリバー付きのみ) 42
 ホイール取付け間隔の調整・・・・・・・・ 43

キャスター (前座高) の調整・点検
 前座高の調節・・・・・・・・・・・・ 44
 キャスター角の調整・・・・・・・・・・・・ 45
 トレッドの調整・・・・・・・・・・・・ 45
 ハイトの調整・・・・・・・・・・・・ 46
 キャンバー角の調整・・・・・・・・・・・・ 46
 キャスターの点検・・・・・・・・・・・・ 46

アームレストの調整・点検
 固定式の調節・・・・・・・・・・・・ 47
 着脱式の調節・・・・・・・・・・・・ 47
 アームレストの点検・・・・・・・・・・・・ 47

miniNEOの調整
 車軸位置変更時のサイドガードの調整・・・・ 48
 プッシュハンドルの調整・・・・・・・・ 49

その他の調整・点検
 SFR2の調整・・・・・・・・・・・・ 50
 SFR2の調整範囲・・・・・・・・・・・・ 50
 ゴムダンパーについて・・・・・・・・・・・・ 50
 レッグベルトの着脱・・・・・・・・・・・・ 51
 「LPC4」キャスターホイールのゴム交換・・・・ 51
 タイヤの点検・・・・・・・・・・・・ 52
 ホイール回りの点検・・・・・・・・・・・・ 52
 その他の点検・・・・・・・・・・・・ 52

日常・定期点検
 日常点検・・・・・・・・・・・・ 53
 定期点検・・・・・・・・・・・・ 53

4章 その他

仕様諸元
 NEO ・・・・・・・・・・・・ 55
 NEO plus ・・・・・・・・・・・・ 56
 miniNEO キッズ ・・・・・・・・・・・・ 57
 miniNEO ジュニア ・・・・・・・・・・・・ 58
 お客様ご相談窓口のご案内
 お客様ご相談窓口・・・・・・・・・・・・ 59
 アフターサービスの実施・・・・・・・・ 59
 パンクでお急ぎの場合には・・・・・・・・ 59

安全上のご注意

<絵表示について>

この取扱説明書では、この製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を指しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を指しています。



この表示は、増し締め箇所を示しています。
定期的に、緩みがないか点検・増し締めをして下さい。



この表示は、注油箇所を示しています。
定期的(1か月に1度が目安)に、注油をして下さい。



この表示の示す箇所には、絶対に潤滑油などの油分は塗布してはいけません。
万が一、油分などが付着した場合は、十分に脱脂して下さい。



自操用車いす以外の目的に使用しない。

事故や転倒などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。
この製品は、自操・平坦地専用です。補助動力装置などを取付けると保証の適用は除外されますので取付けしないでください。

壊れたままや異常がある時は使用しない。

事故や転倒などのおそれがあります。
故障や異常を見つけたら、車いすの使用をやめ販売店にご相談ください。

改造・分解しない。

改造すると安全性が低下して、部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させたりし、事故や転倒などのおそれがあります。
改造・分解は行わず、整備が必要な時は販売店にご相談ください。

調整作業に不安がある時は調整しない。

部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させて、事故や転倒などのおそれがあります。
不安な時は販売店にご相談ください。

不十分な調整状態で使用しない。

身体に無理をかけたり、褥瘡^{じよくそう}などになるおそれがあります。
身体の状態に合わせて、正しい乗車姿勢が保て、麻痺部位と車いすの固い部分(フレームなど)が接触しないように調整します。

ホイールの装着後、固定を確認せずに使用しない。(P.16)

ホイールが外れて転倒などのおそれがあります。
必ず乗る前に点検してください。

乗車中はプッシュロッドには触れない。(P.16)

ホイールが外れて転倒などのおそれがあります。

車軸前後位置及び座面の高さは、身体の状態に合わせて無理をしない。(P.40～42)

転倒、転落のおそれがあります。

高温になる場所(炎天下の自動車内、暖房器具の近くなど)に置かない。

車いすが加熱され火災ややけどなどのおそれがあり、また、パンクなど部品を著しく傷めるおそれがあります。

車いすに巻き込まれやすい服装は避ける。

ホイールやキャスターなどに巻き込まれ、事故や転倒などのおそれがあります。

他の乗り物につかまりながらの移動はしない。

車いすを損傷させたり転倒・転落などのおそれがあります。

車いすを踏み台にしたり、車いすの上で立ち上がったたりしない。

バランスを崩し転倒・転落のおそれがあります。



フットレストに乗ったり、立ったりしない。

転倒や転落などのおそれがあります。また車いすが損傷します。

掃除する時などに、タイヤやハンドリムにワックスなどの油分を付けない。

ワックスなどの油分が付くと、タイヤやハンドリムが滑り十分なスピード調整ができなくなり、事故や衝突・転倒などのおそれがあります。

ワックスなどの油分が付いた時には、十分脱脂してください。

雨などでハンドリムが水に濡れた時は、スピードを出さない。

ハンドリムが滑り、十分なスピード調整ができなくなり、事故や衝突・転倒などのおそれがあります。水分が付いた時には、乾いた布で十分拭き取ってください。

下り坂などではスピードを出さない。

衝突や転倒などの事故をおこしやすく危険です。

ハンドリムとの摩擦によるやけどに注意し、ハンドリムでスピード調整してください。

急坂などの自操は避ける。

事故や転倒のおそれがあります。

介助してもらいましょう。

ブレーキはスピード調整に使用しない。

タイヤがロックし、事故や転倒のおそれがあります。ブレーキは駐停車時専用です。

ハンドリムを使ってスピード調整してください。

悪路・荒地には入らない。

事故や転倒などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。この製品を山岳・荒地・砂地・河原・水中・泥地などのオフロードでは使用しないでください。

凹凸の激しいところ(踏切、歩道などの段差や溝)は自操を避ける。

キャストが挟まり車いすを損傷させ、事故や転倒などのおそれがあります。

段差の飛び降りなど、乱暴・無理な取扱いをしない。

車いすを損傷させ、事故や転倒などのおそれがあります。

ペットを連れて使用しない。

ペットに車いすごと引きずられ、事故や転倒のおそれがあります。

滑りやすいところは、自操を避ける。

降雪時、凍結路、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷などはスリップしやすく事故や転倒などのおそれがあります。

介助してもらいましょう。

傘をさして使用しない。

レインコート・帽子などを使用してください。また、ハンドリムが濡れて滑りますので十分注意してください。



ブレーキをかけたまま走行しない。

ブレーキを損傷させ、事故や転落のおそれがあります。
ブレーキを解除してから走行しましょう。

未使用時の車いすに乳幼児を近づけない。

車いすを倒して下敷きになったり、けがのおそれがあります。

運動機能が低下するもの(アルコールや風邪薬など)を摂取した時は自操しない。

事故や転倒・転落などのおそれがあります。

ウイリー(キャストアップ)は十分熟練するまで一人でやらない。

転倒のおそれがあります。

ハンドリム以外の回転部(タイヤ、スポークなど)に手を触れない。

手を巻き込まれるおそれがあります。

バックレストにバッグなどを取付ける場合、中身を入れすぎない。

後方へ転倒のおそれがあります。

エスカレーターは使用しない。

事故や転倒・転落のおそれがあります。

点検・整備をする。

点検・整備を怠ると、故障や事故などのおそれがあります。
日常の点検・整備、及び1か月に1回、各部の点検・整備をしてください。

車いすをこぎだす時、また走行中は周囲に気を付ける。

子供などが車いすの回転部・可動部に手などはさまれるおそれがあります。

身体の状態に適したクッションを使用して車いすに着座する。

褥瘡じよくそうになるおそれがあります。

自動車の座席として使用しない。

車いすに移乗したまま、自動車の座席として車いすを固定して使用すると、車いすが破損し事故のおそれがあります。
自動車の座席、またはそれに耐えられる車いすに乗り換えてください。

夜間走行は避ける。

事故に遭うおそれがあります。
明るい道の利用、視認性の高い服装・機器などで自衛しましょう。

移乗時・停車時・未使用時はブレーキをかける。

車いすが動き出して落下・転落・転倒などのおそれがあります。
少しの間の停車、駐車でも必ずブレーキをかけてください。

道路交通法上車いすは歩行者です。歩道を通りましょう。



素足で使用しない。

けがのおそれがあります。

靴下をはき、底のある履き物をはいて使用してください。

タイヤをにぎって走行しない。

タイヤとサイドレザー、ブレーキ、アームレストの間に、指をはさむおそれがあります。

ハンドリムを使って走行してください。

屋外に放置しない。

気象変化や気温変化により、車いすが著しく劣化します。

必ず屋内に保管してください。

シートパイプをにぎって車いすを開かない。(P.15)

フレームとシートパイプの間に指をはさまれます。

サイドレザーと回転部(タイヤ、スポークなど)を接触させない。

サイドレザーが破損します。

クッションの種類、サイズによっては、サイドレザーと回転部が接触するおそれがありますので接触しないものを使用してください。

貴重品は車いすのポケットに入れない。

紛失・盗難のおそれがあります。

面ファスナーは、確実に貼付ける。

固定力が低下して、調整状態が変わります。

面ファスナーに付着したほこり・砂・糸くずなどは取除く。

固定力が低下して、調整状態が変わります。

＜安全に介助されるために＞



走行時に回転部・可動部には触れさせない。

介助者がホイールなどに巻き込まれるおそれがあります。

アームレストが確実にボルト固定状態であることを確認する。

介助時にアームレストを持ち、アームレストが抜けて転倒・転落のおそれがあります。

固定状態の確認後、介助を受けてください。

また、着脱式アームレストの場合は、アームレストを持って介助しないでください。

持つ位置を指定する。(P.23)

転倒・転落のおそれがあります。また、介助者がけがをするおそれがあります。

介助者がメインホイールの装着を行ったときは、必ずプッシュロッドが完全に戻っていることを自ら確認する。

ホイールが外れ事故や転倒のおそれがあります。

この取扱説明書を読んでいない方がホイールの着脱や車いすの開閉などの介助をする場合は、あなたがその都度、説明してください。

1章 総説

この章では、基本的な操作方法とお手入れや保管方法及び調整・点検について説明しています。

基本的な操作方法

お手入れについて

保管について

調整・点検について

調整可能な箇所



基本的な操作方法

- 車いすのシート部にクッションを敷き、クッションに着座してください。
- 足はフットレストに乗せてください。
- 走行する時は、ハンドリムを手動で回転させて走行します。
- 停止する時は、ハンドリムの回転を手で止めて停止します。
- 駐停車時、移乗する時は、必ずブレーキをかけてください。

お手入れについて

- こまめに清掃することをお勧めします。
こまめに清掃することにより、車いすの異常を早期に発見することにもつながります。

※有機溶剤を含んだ油汚れ取りは使用しないでください。
塗装面がはがれるおそれがあります。

保管について

- 必ず屋内で保管してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、タイヤを接地させないようにして、タイヤの空気を抜いて保管してください。
- 再びご使用の際は点検・整備をしてください。

調整・点検について

- この車いすは、各所に調整機構がありますのであなたの状態に合わせて各所の調整を行ってください。
- 調整作業上、ホイールを外した方が作業しやすい場合がありますので、作業に合わせてホイールの着脱を行ってください。
- 最適な姿勢で使用できるように各部の調整を行って下さい。
- 調整作業に不安がある場合は、ご自分では調整しないで、販売店に依頼してください。
- 日常の点検・整備を行ってください。
- 1か月に1回を目安にして、定期点検を行ってください。

調整可能な箇所

- この車いすは、次の箇所に調整機構があります。
 - ブレーキ：効き具合・前後位置
 - バックレスト：高さ・角度・張り(バックレザー)
 - フットレスト：長さ・角度(フットプレート)
 - アームレスト：高さ
 - 車軸：ホイール取付け間隔・後座高・車軸前後位置
 - キャスター：前座高・トレッド

2章

車いすに乗る前に

この章では、この車いすの基本的な機能について説明しています。ご使用になる前に次の各説明を必ずお読みください。

車いすの折りたたみ

ホイールの着脱・点検

ブレーキの種類・操作

ブレーキの調整・点検

バックレスト角度の調整・点検

乗車・安全な介助

介助ブレーキの調整・点検・操作

車いすの折りたたみ
(P.14~15)

バックレスト角度の
調整・点検(P.20~22)

ブレーキの
種類・操作・調整・点検
(P.17~19)

ホイールの着脱・点検
(P.16)



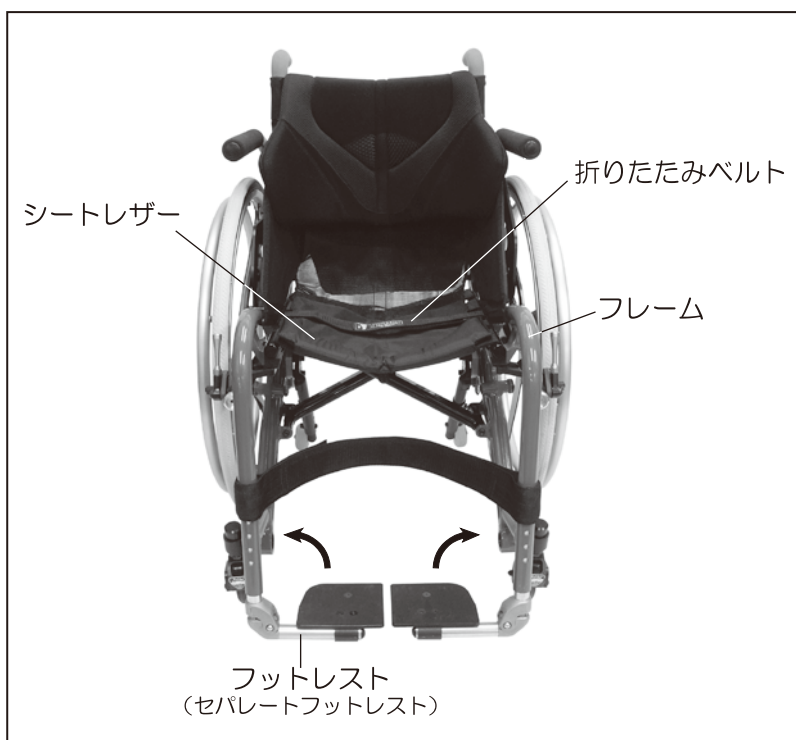
車いすの折りたたみ

＜折りたたむ＞【図1-1】【図1-2】【図1-3】【図1-4】

- 1) セパレートフットレストの場合は、左右のフットレストを折り上げる。【図1-2】
- 2) 折りたたみベルト中央部を、上に引き上げる。【図1-3】
- 3) シートパイプ先端部の左右を合わせて折りたたむ。【図1-4】

注意

折りたたみベルトで車いすを持ち上げない。
* 車いすの重さで折りたたみベルトが外れ、事故のおそれがあります。



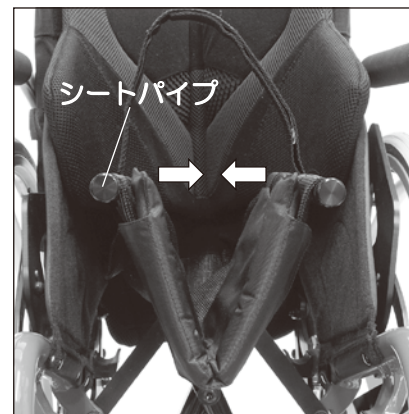
【図1-1】



【図1-2】



【図1-3】



【図1-4】

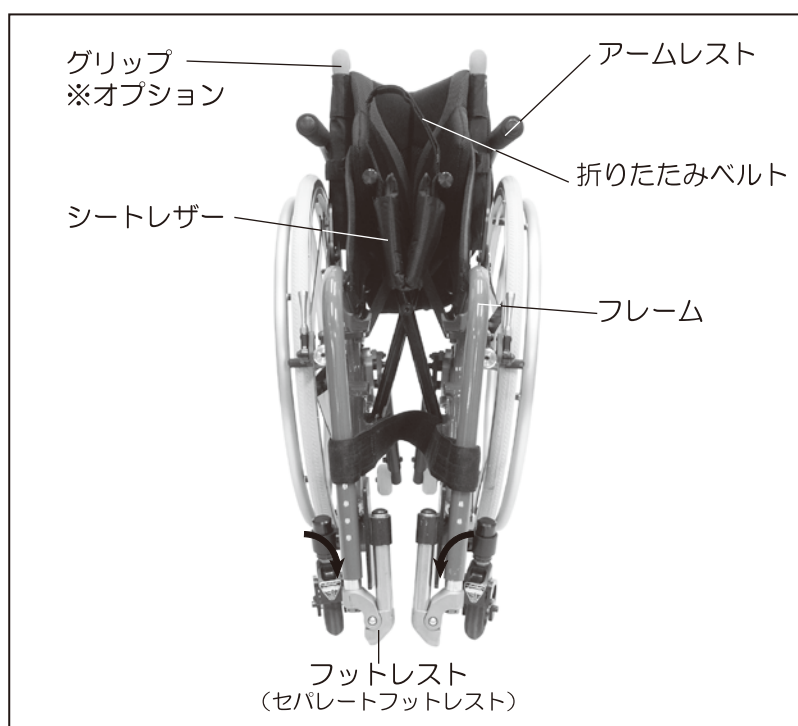
車いすの折りたたみ

<開く>【図1-5】【図1-6】【図1-7】

- 1) フレームを持って少し開く。
- 2) 片手でアームレストまたはグリップ（バックレスト）を押さえながら、手をはさまないように注意して、もう一方の手でシートパイプを押し広げる。
- 3) シートパイプが「受け」に確実にハマるまで広げる。【図1-6】
- 4) セパレートフットレストの場合は、左右のフットレストを下げる。【図1-7】

⚠注意

シートパイプをにぎって車いすを開かない。
*シートパイプとフレームの間に手や指をはさみ、ケガをするおそれがあります。



【図1-5】



【図1-6】



【図1-7】

ホイールの着脱・点検

＜ホイールの取外し＞【図1-8】

- 1) ブレーキを「解除」する。(P.17)
- 2) ホイール中心部のプッシュロッドを押しながら、ホイールを手前に引く。

＜ホイールの取付け＞【図1-8】

- 1) ブレーキを「解除」の状態にする。(P.17)
- 2) ホイール中心部のプッシュロッドを押しながら、ホイールシャフトを軸穴に差込む。
- 3) 確実に軸穴に差込まれ、プッシュロッドが【図1-8】の「○」の状態であることを確認する。

＜ホイールの点検＞【図1-8】

- 装着時にプッシュロッドが戻らないなどの異常が無いかを確認する。
 - *異常があれば使用を止めて販売店にご相談ください。
- タイヤの減り具合、空気圧を見る。
 - *タイヤから布地が少しでも見えたら交換してください。
 - *タイヤの空気圧はP.52を参照してください。

○固定ホイールは定期的(1か月に1回程度)に増し締めする。

⚠警告

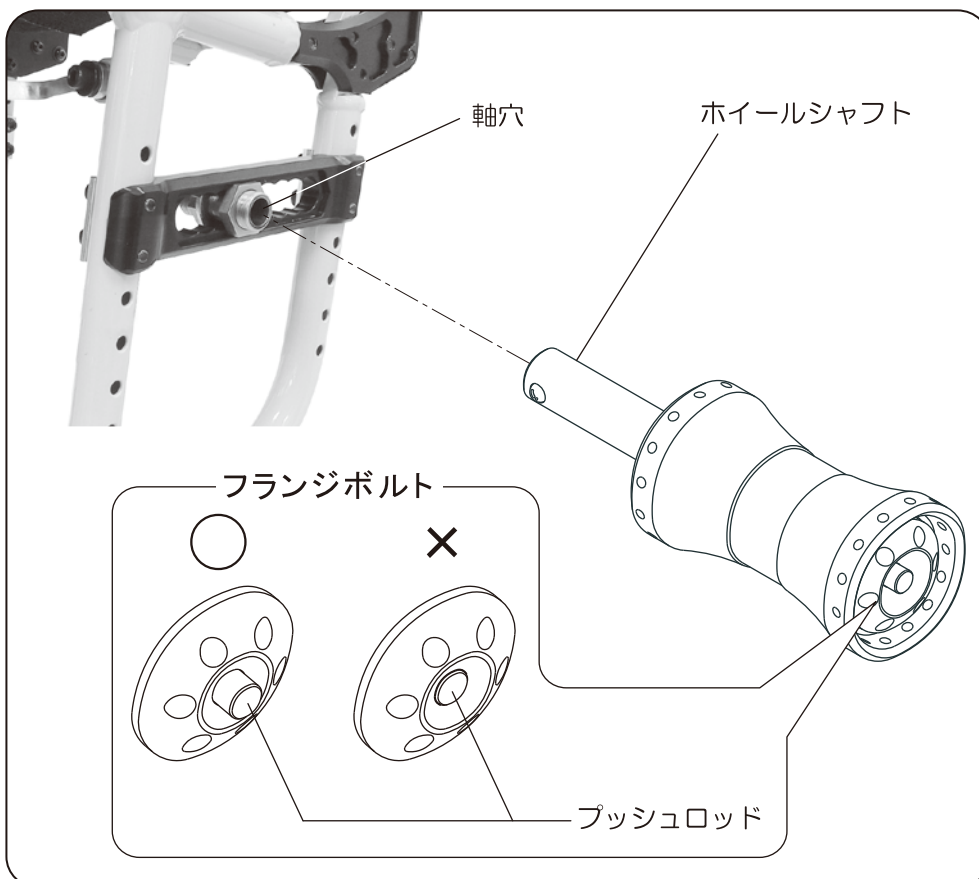
乗車中はプッシュロッドに触れない。
*乗車中にホイールが外れ事故や転倒などのおそれがあります。

⚠警告

フランジボルトの中心からプッシュロッドが十分突き出していることを確認する。
*確実に固定されていないとホイールが外れ事故や転倒などのおそれがあります。
*プッシュロッドが戻らないなどの異常がある場合は、車いすの使用を止めて販売店にご相談ください。

⚠警告

ホイールシャフトや軸穴は精密加工されているので、傷を付けない。
*傷が付くとホイールシャフトが入らなかったり、入りにくくなったりして危険です。
*ホイールシャフトが入らなかったり、入りにくなるなどの異常がある場合は、車いすの使用を止めて販売店にご相談ください。



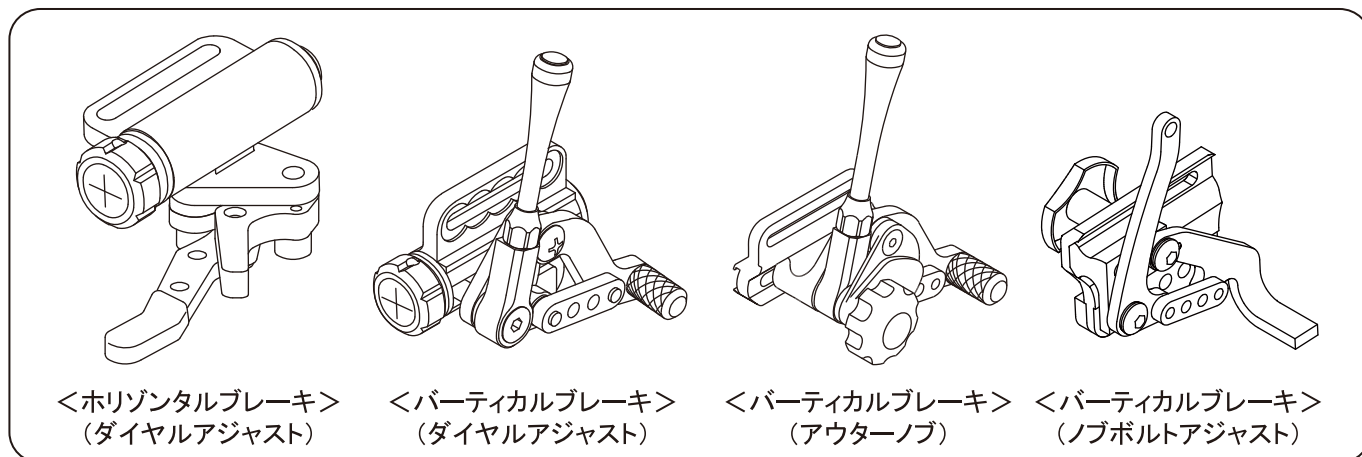
【図1-8】

ブレーキの種類・操作

ブレーキの種類には次の4つがありますので、ご自分の車いすに装着されているブレーキをご確認の上、「ブレーキの操作」「ブレーキの調整・点検」をお読みください。

<アジャスタブルブレーキ>【図1-9】

ダイヤル操作によるブレーキ位置の微調整が可能で、次のものがあります。



【図1-9】

<ブレーキのかけ方>【図1-10】

- 1) 左右のブレーキレバーを後方(タイヤ側)にロックするまで引く。
- 2) 車いすが動かないことを確認する。

※ブレーキをかけた状態で車いすが動く場合やブレーキが固くてかけられない場合は、「ブレーキの調整・点検」(P.18~19)を行ってください。

警告

ブレーキをかけた状態で、車いすが動かないことを確認する。

- * 転倒・転落のおそれがあります。
- * 「ブレーキの調整・点検」(P.18~19)をこまめに行いブレーキの効き具合を最適に保ってください。

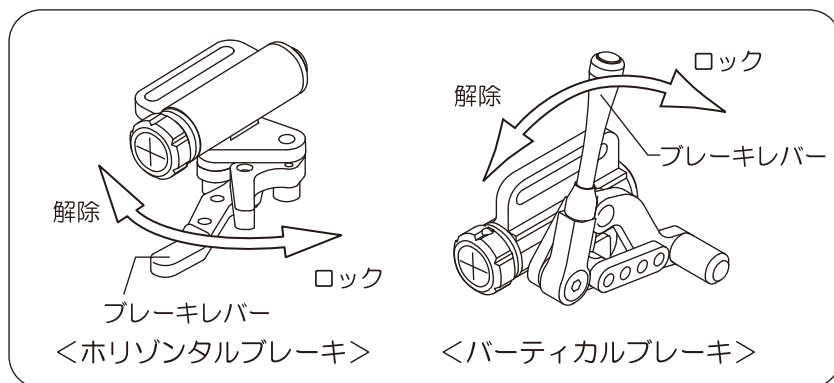
<ブレーキの解除>【図1-10】

- 1) 左右のブレーキレバーを前方(進行方向)に押す。
- 2) ブレーキが完全に解除されたことを確認する

警告

ブレーキはスピード調整に使用しない。

- * タイヤがロックし、事故や転倒のおそれがあります。ブレーキは駐停車時専用です。



【図1-10】

注意

ブレーキの解除をする時はブレーキレバーを最後まで戻す。

- * タイヤとブレーキの隙間に指をはさむおそれがあります。

ブレーキの調整・点検

「水平ブレーキ」「垂直ブレーキ」のどちらもタイヤの空気圧が適正な状態(P.49)で、ブレーキをかけた時のタイヤの凹み「A」【図1-11】が3～5mmになるように調整してください。

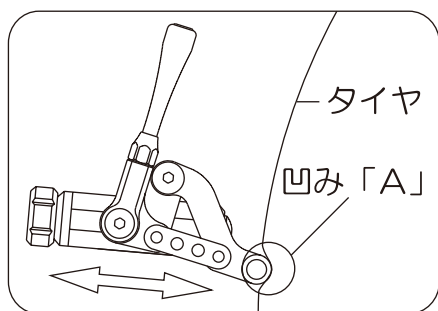
＜ダイヤルアジャストの調整＞【図1-11】【図1-12】

- 1) ブレーキを解除する。(P.17)
- 2) ダイヤルを回して調整する。
 - a の方向(反時計回り)
タイヤの凹みを増やし、ブレーキの効きを強くする。
 - b の方向(時計回り)
タイヤの凹みを減らし、ブレーキの効きを弱くする。
- 3) 左右同様に調整する。

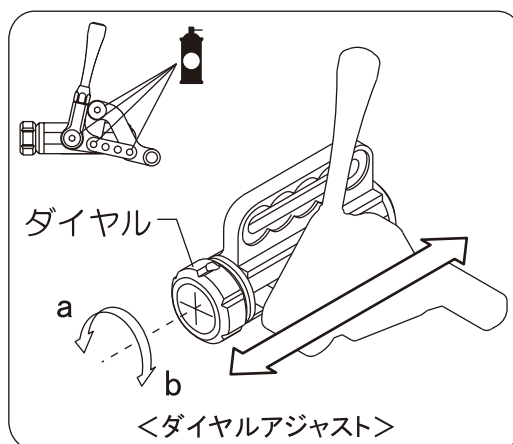
＜アウターノブ・ノブボルトアジャストの調整＞

【図1-11】【図1-13】【図1-14】

- 1) ブレーキを解除する。(P.17)
- 2) ノブを回して緩める。
- 3) 最適な位置にスライドさせる。
- 4) ノブを回して締める。
- 5) 左右同様に調整する。

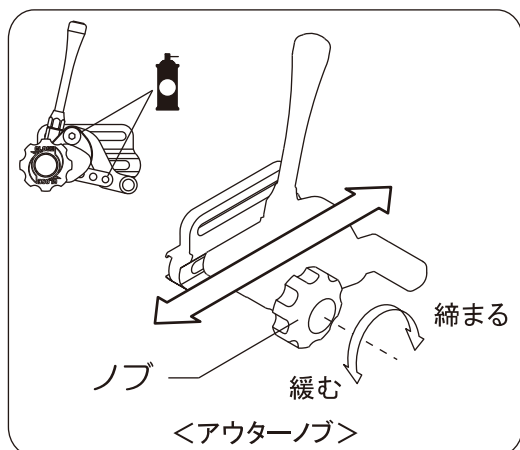


【図1-11】



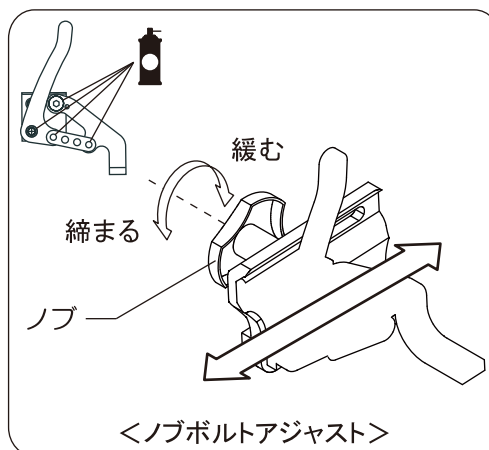
＜ダイヤルアジャスト＞

【図1-12】



＜アウターノブ＞

【図1-13】



＜ノブボルトアジャスト＞

【図1-14】



警告
ブレーキの効きは必要以上に強くしない。
*ブレーキが破損し事故や転倒・転落のおそれがあります。



警告
注油は、ブレーキとタイヤの接触する箇所には行わない。
*ブレーキが効かず転倒・転落のおそれがあります。油分が付着してしまったときは、十分に脱脂してください。



警告
アウターノブ・ノブボルトアジャストの調整後には「ノブ」が締まっているか確認してから使用する。
*「ノブ」がしっかりと締まっていない状態で使用しますとブレーキが前後にスライドし非常に危険です。

ブレーキの調整・点検

＜ステア取付け位置の調節＞【図1-15】

車軸前後位置の調整やホイールサイズの変更を行うと、ダイヤルやノブによる微調整では調整しきれない場合があります。このような場合にはブレーキ本体もしくはブレーキステアの取付け位置を移動して調節を行ってください。

※下図は一例です。ご自分の車両に装着されているブレーキの部品構成をよく確認した上で調節してください。



警告

ボルトを締めるときにワッシャーが確実に加工溝に収まっていることを確認する。

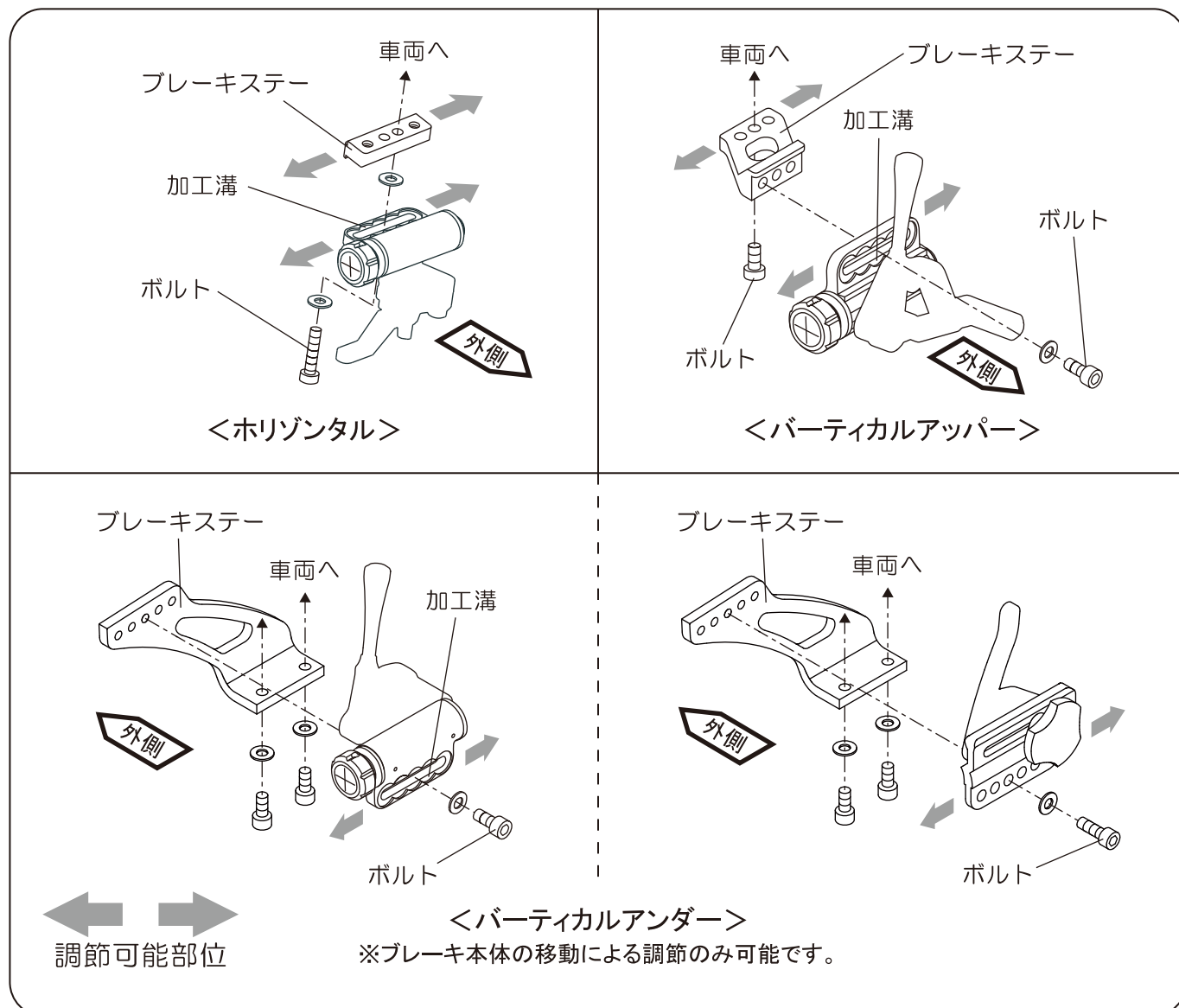
*ブレーキが外れ事故や衝突、転倒・転落のおそれがあります。

*ブレーキにガタつきや異常な動きなどを見つけたら増し締めを行ってください。増し締めを行っても異常があるときは、車いすの使用を止め、販売店にご相談ください。

＜ブレーキの点検＞

毎日乗車前にブレーキの効き、ボルト・ナット類の緩み、脱落がないか点検してください。

ボルト締め付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図1-15】

バックレスト角度の調整・点検

＜バックレストの角度調節（NEO plus/miniNEO）＞

【組合せ表1】 【図1-16】

「調節可能範囲」は次の通りです。（機種により異なります）

オフセット（シート奥行調節バックレスト） 0の場合：70°～106°（4°ピッチ）

オフセット（シート奥行調節バックレスト）-20の場合：78°～114°（4°ピッチ）

オフセット（シート奥行調節バックレスト）-40の場合：86°～126°（4°ピッチ）

※角度調節の際、オフセット寸法（シート奥行調節バックレスト寸法）や設定する角度によって使用する穴の組合せが異なります。

次の【組合せ表1】を参照し、最適な角度になる固定穴と調節穴の組合せを選択し、下記の方法で調節してください。

オフセット0の場合			オフセット-20の場合			オフセット-40の場合		
角度	固定穴	調節穴	角度	固定穴	調節穴	角度	固定穴	調節穴
70°	A	+ 3	78°	A	+ 3	86°	A	+ 3
74°	B	+ 5	82°	B	+ 5	90°	B	+ 5
78°	A	+ 2	86°	A	+ 2	94°	A	+ 2
82°	B	+ 4	90°	B	+ 4	98°	B	+ 4
86°	A	+ 1	94°	A	+ 1	102°	A	+ 1
90°	B	+ 3	98°	B	+ 3	106°	B	+ 3
94°	C	+ 5	102°	C	+ 5	110°	C	+ 5
98°	B	+ 2	106°	B	+ 2	114°	B	+ 2
102°	C	+ 4	110°	C	+ 4	122°	C	+ 4
106°	B	+ 1	114°	B	+ 1	126°	B	+ 1

【組合せ表1】

- 1) アウターレザーを取外す。(P.33)
- 2) サイドレザー後部の面ファスナーとベルトをはがす。(P.35)
- 3) ②ボルトを2～3回転緩める。
- 4) ①ボルトを取外す。
※①ボルトの位置は、ご選択されたバックレスト角度により異なります。
- 5) 【組合せ表1】を参照しながら、最適な角度になる固定穴と調節穴の組合せを選択する。
※調節時、固くて動かしづらい場合は、無理に動かさず、③④ボルトも緩めてください。
- 6) 5) で選択した固定穴と調節穴に①ボルトを取付ける。
※③④ボルトも緩めた場合は、③④ボルトを締める。
- 7) ②ボルトを締める。
- 8) 反対側も同様に調節する。
- 9) サイドレザー後部及びベルトを最適な張りになるように貼付ける。(P.35)
- 10) アウターレザーを取付ける。(P.33)

警告

「調節可能範囲」を越えた調節をしない。

* 後方への転倒・転落、車いすの破損のおそれがあります。必ず調節可能範囲内で調節を行なってください。

注意

必ず左右のバックレスト角度は同じ角度にする。

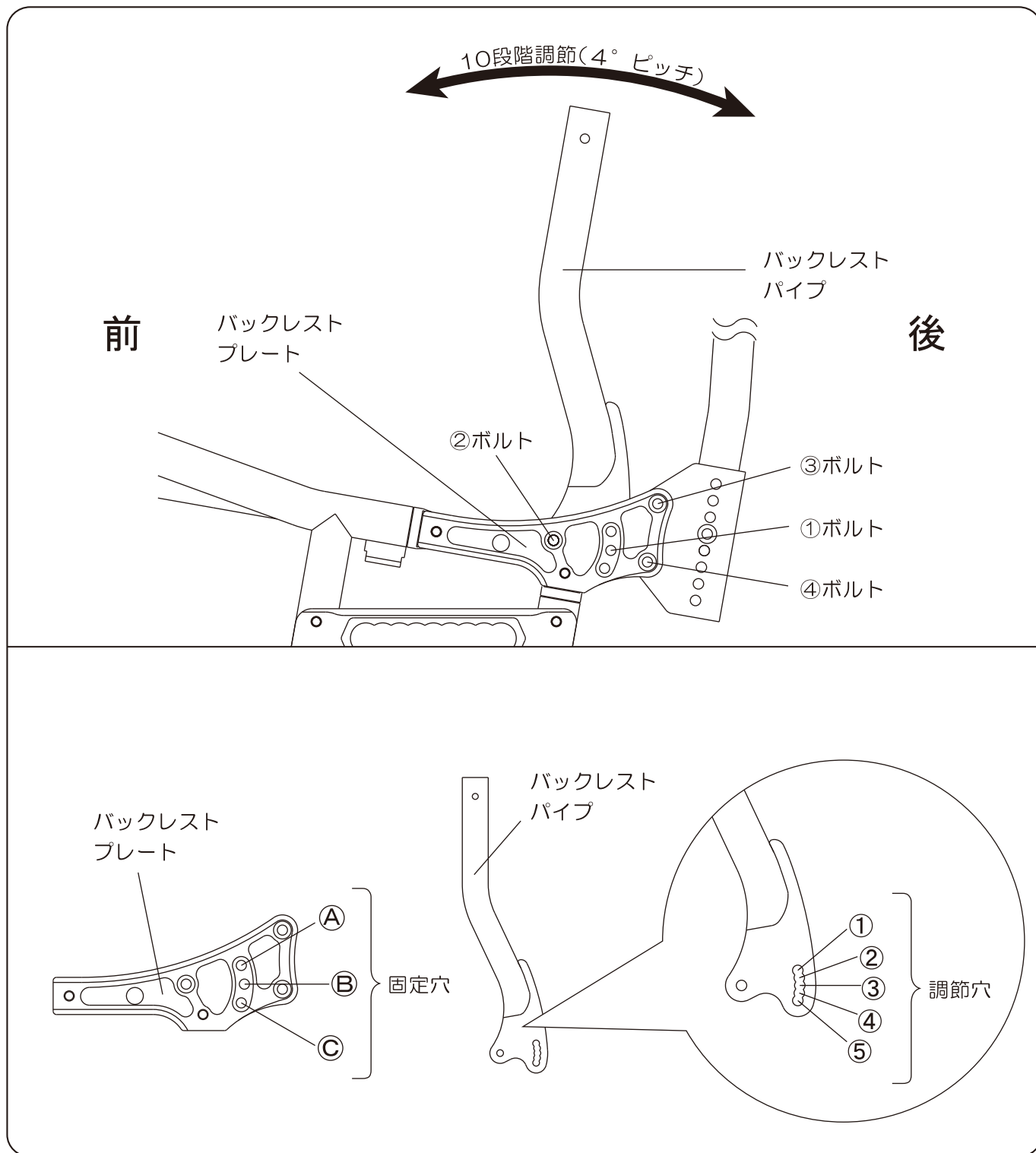
* バックレストに負荷がかかり車いすが破損するおそれがあります。

注意

サイドレザーは、たるまないように貼付ける。

* ホイールへの干渉や、巻き込みのおそれがあります。

①～④ボルト締付けトルク 12N・m(1.2kgf・m)



【図1-16】

バックレスト角度の調整・点検

＜バックレストの角度調節（NEO）＞【図1-17】

- 1) アウターレザーを取外す。(P.33)
- 2) サイドレザー（サイドガード）後部の面ファスナーとベルトをはがす。
- 3) ②ボルトを2～3回転緩める。
- 4) ①ボルトを取外す。
- 5) バックレストを最適な角度に調節する。
※調節時、固くて動かしづらい場合は、無理に動かさず、③④ボルトも緩めてください。
- 6) ①ボルトを取付ける。
- ※③④ボルトも緩めた場合は、③④ボルトを締める。
- 7) ②ボルトを締める。
- 8) 反対側も同様に調節する。
- 9) サイドレザー（サイドガード）後部のベルトを最適な張りになるように貼付ける。
- 10) アウターレザーを取付ける。(P.33)

⚠注意

必ず左右のバックレスト角度は同じ角度にする。

*バックレストに負荷がかかり車いすが破損するおそれがあります。

⚠注意

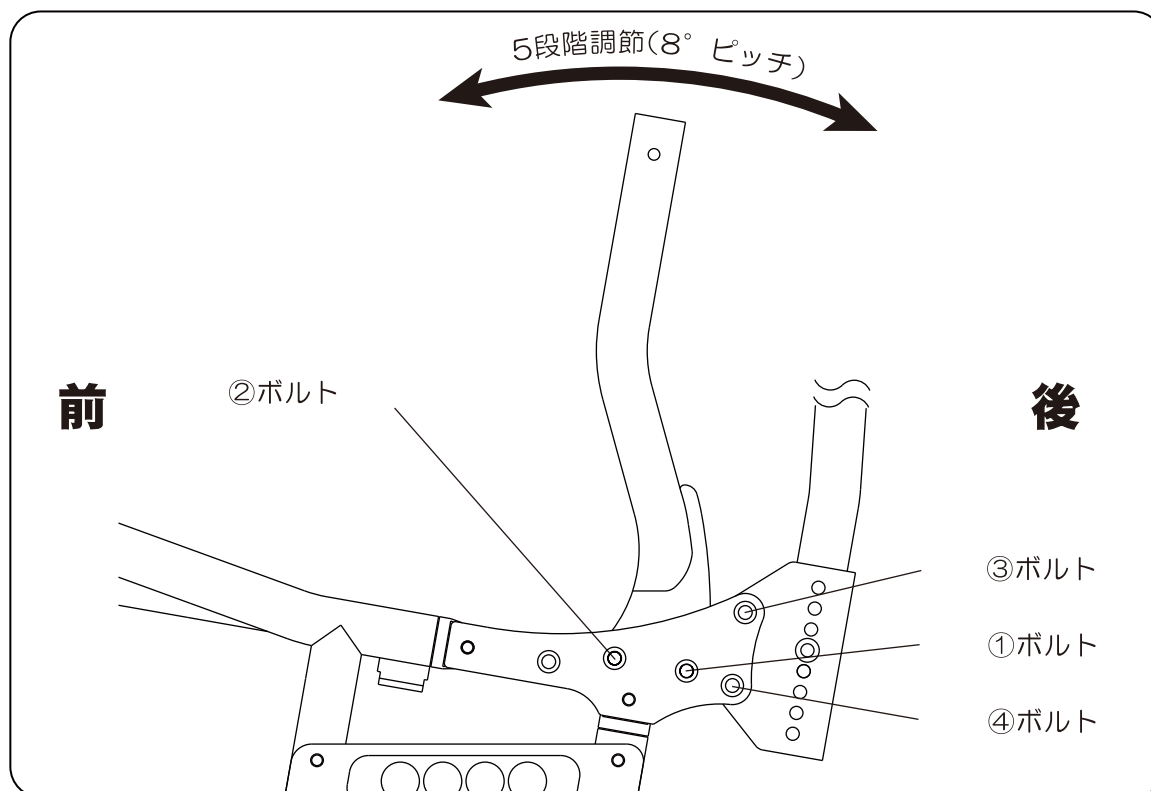
サイドレザーは、たるまないように貼付ける。

*ホイールへの干渉や、巻き込みのおそれがあります。

＜バックレストの点検＞

ボルト・ナット類の緩み、脱落、極端に大きなガタつきがないか点検してください。

①～④ボルト締付けトルク 12N・m(1.2kgf・m)



【図1-17】

乗車・安全な介助

＜乗車姿勢＞

車いすのシート部にクッションを敷き、着座してください。足はフットレストに乗せてください。

最適な姿勢で使用できるように、フットレストの調整、バックレストの調整を行ってください。3章各部の調整・点検参照。

＜安全な介助のために＞【図1-18】

介助を受ける際には、車いすを持つ箇所を介助者に指示してください。

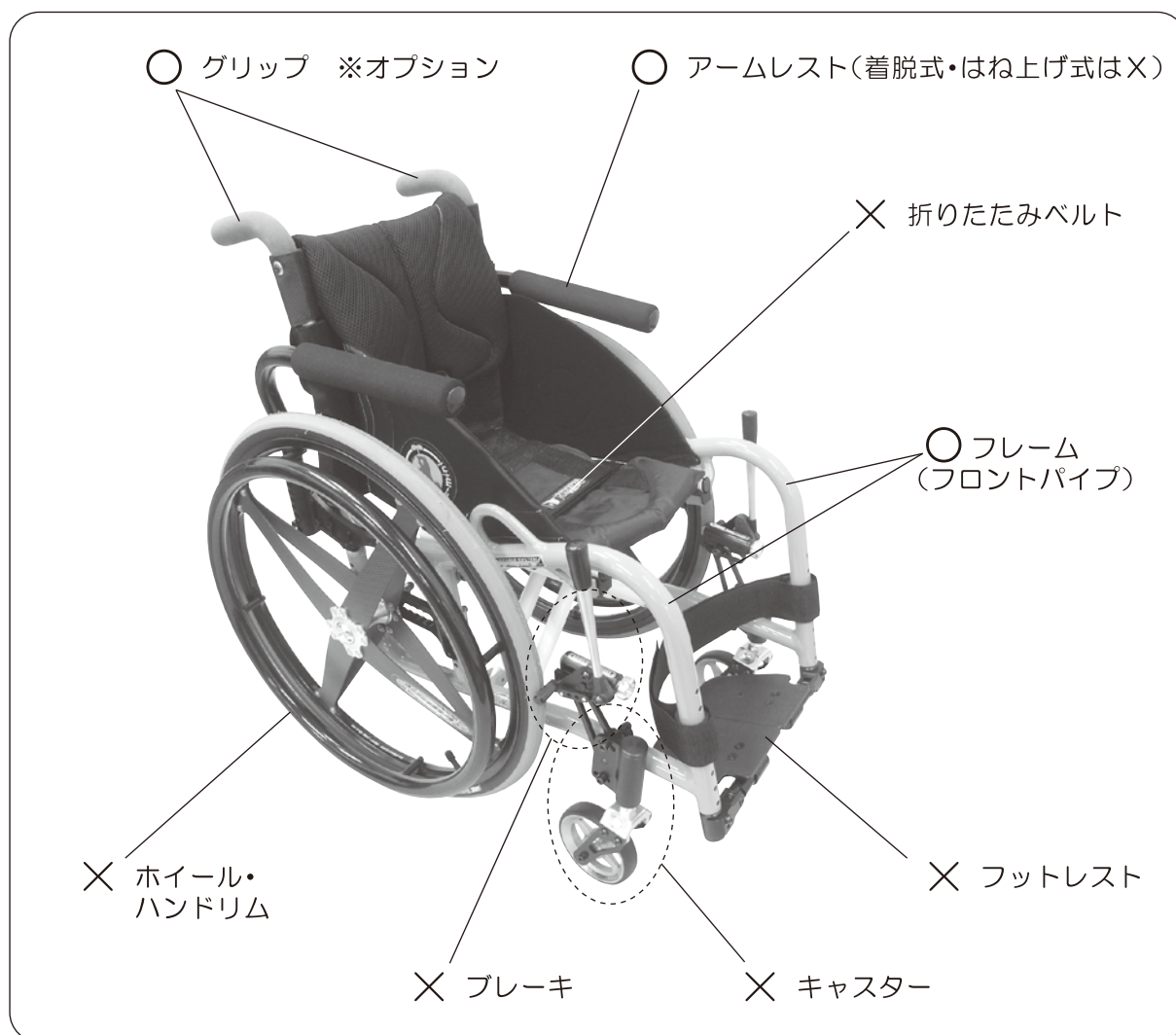
下図に示す×印の箇所は非常に危険です。



車いすを持ち上げるときは必ず○印の箇所を指定する。

* ○印以外の箇所を持つと部品が外れたり破損したりして落下・転落・転倒のおそれがあります。

* 車いすの介助に不慣れな方が、ホイールや着脱可能な状態のアームレストを持つことがあります。非常に危険ですので、あなたが安全な箇所を指定してください。



【図1-18】

介助ブレーキの操作・調整・点検

介助ブレーキは、グリップに装着されたレバーをにぎり操作することで、介助する方が容易に減速、停車を行えるようにするものです。車いすから離れる場合や車いすを止めておく場合は、必ず車いすのブレーキ(P.17)をかけてください。

警告

車いすから離れる時は、必ず車いすのブレーキ(P.17)をかける。

* 介助ブレーキのロックは補助的なものです。ロックが外れ、事故のおそれがあります。

* 必ず平坦な場所でブレーキ(介助ブレーキではありません)をかけてください。

注意

②ナットの締付けトルクには十分注意する。

* ③が破損します。

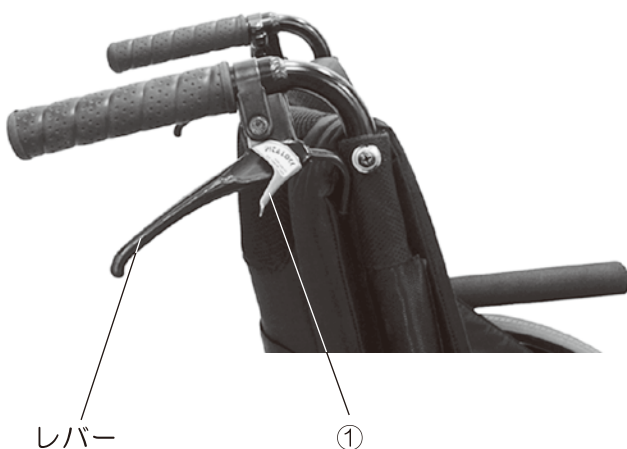
<介助ブレーキのロック・解除方法>【図1-19】

- 1) レバーをにぎる。
- 2) レバーをにぎりながら①をにぎる。
- 3) レバーをゆっくり放す。
- 4) レバーが戻らずに固定されていることを確認する。
- 5) 反対側も同様にする。
- 6) 再度レバーをにぎるとロックが解除します。

<介助ブレーキの調整>【図1-19】【図1-20】

- 1) 介助ブレーキのロックを解除する。
- 2) ②ナットを緩める。
- 3) ③を回してレバーの引きしろを調整する。
調整の目安: ブレーキレバーをにぎり介助ブレーキがロックでき、かつロックした状態で押してもホイールが回らない。
- 4) ②ナットを締める。
※注意: 強く締めると③が破損します。目安としては、手で回らない程度。
- 5) 左右同様に調整する。

②ナット締付けトルク 2N・m(0.2kgf・m)



【図1-19】



【図1-20】

3章

各部の調整・点検

この章では、各部の調整・点検について説明しています。

フットレストの調整・点検

プレートセパレートフットレスト(ターン)の操作

バックレスト及びレザー類の調整・点検

車軸位置の調整・点検

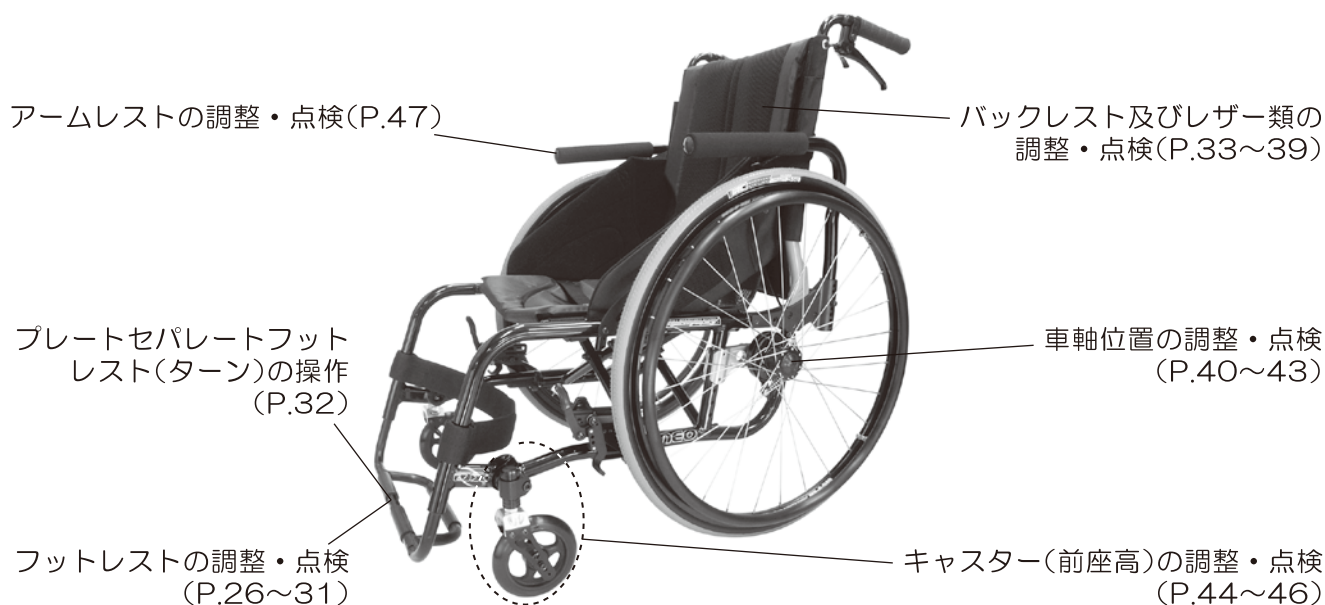
キャスター(前座高)の調整・点検

アームレストの調整・点検

miniNEOの調整

その他の調整・点検

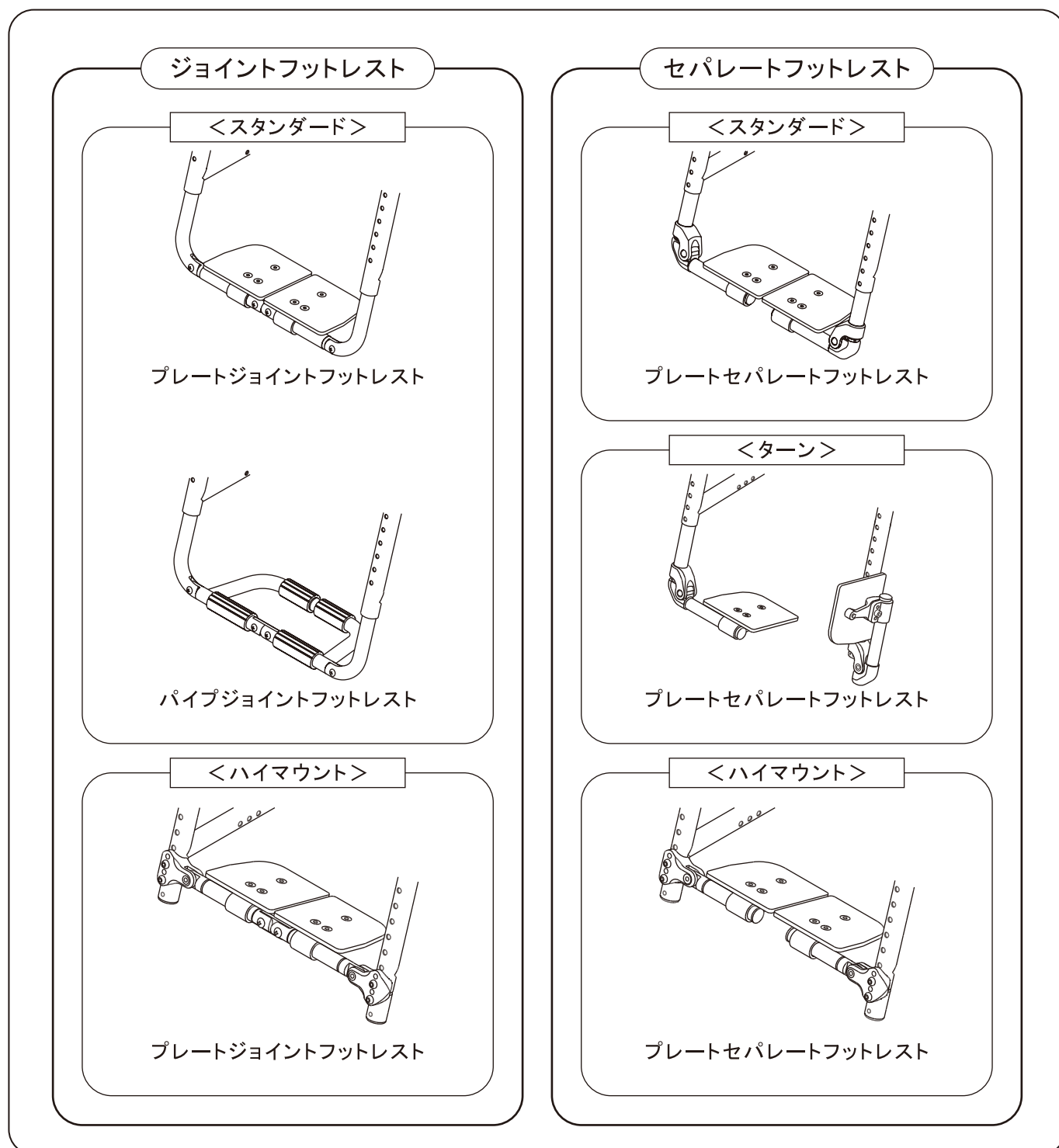
日常・定期点検



フットレストの調整・点検

<フットレストの種類>【図2-1】

フットレストにはいくつかのタイプがありますので、ご自分の車いすに装着されているフットレストをご確認の上「フットレストの調整・点検」をお読みください。



【図2-1】

フットレストの調整・点検

<フットレスト長の調節(スタンダード)>【図2-2】

車いすのシート部にクッションを敷き、着座して最適なフットレスト長に調節してください。

- 1) レッグベルトを外す。(P.51)
- 2) 左右の取付けネジ(ボルト)を外す。
- 3) フットレストロッドバーを上下にスライドさせ、最適な位置に合わせる。
- 4) 左右同じ位置に合わせて、取付けネジ(ボルト)を締付ける。
- 5) フットレストから足が後方に落ちないように、レッグベルトの張りを調整して取付ける。(P.51)

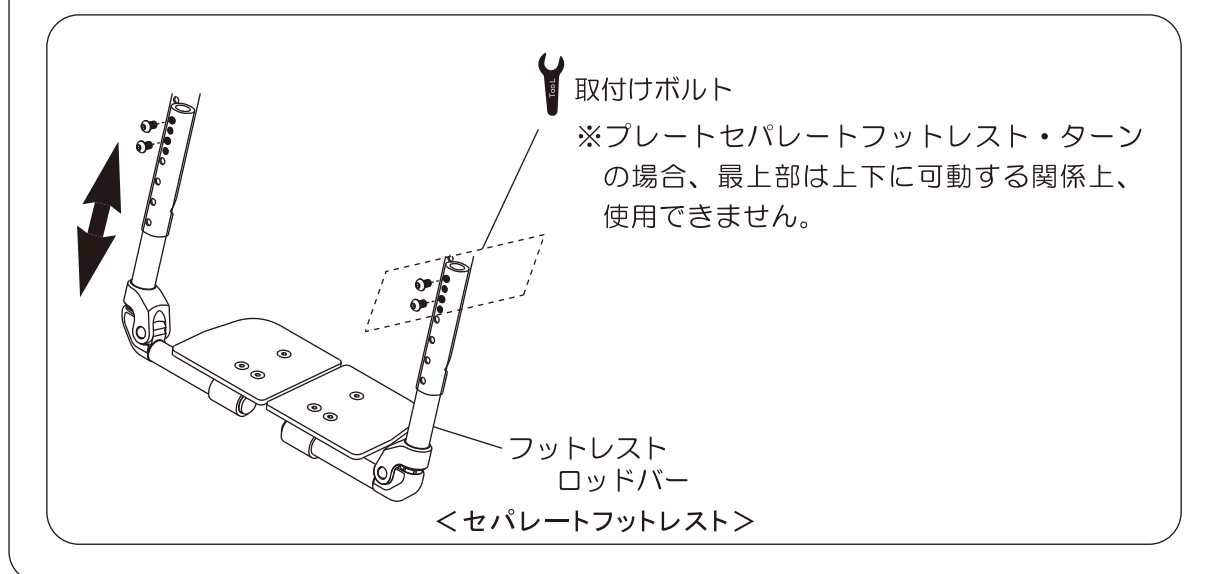
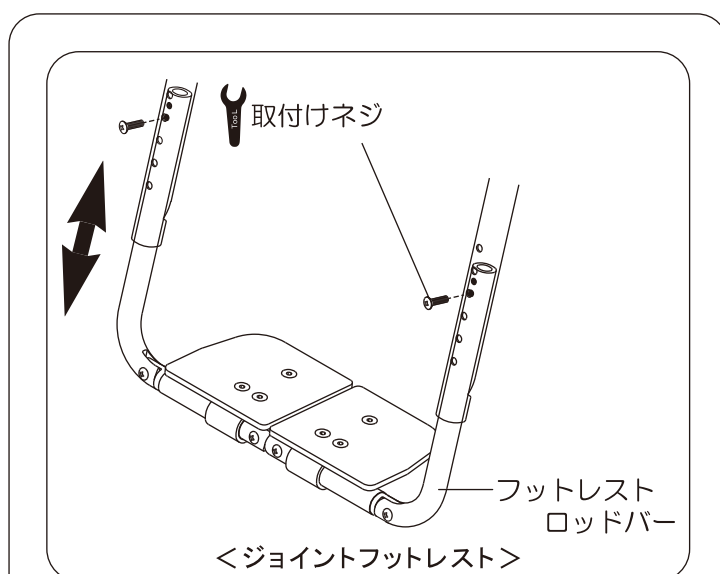
取付けネジ締付けトルク 6N・m(0.6kgf・m)
取付けボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)

警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さに調整する。
* 車いすが破損するおそれがあります。
* 左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でフットレストロッドバー下端の位置を確認してください。



【図2-2】

フットレストの調整・点検

<フットレスト長の調節(ハイマウント)>【図2-3】【図2-4】

車いすのシート部にクッションを敷き、着座して最適なフットレスト長に調節してください。

- 1) レッグベルトを外す。(P.51)
- 2) 左右2本ずつの取付けボルトを外す。
- 3) アダプターの固定穴①と③、または固定穴②と④に取付けボルトを差込み、最適な位置の調節穴に合わせて取付ける。

※固定ボルトが邪魔になる場合は、固定ボルトの位置を変えてください。

- 4) 左右2本ずつの取付けボルトで締付ける。
- 5) フットレストから足が後方に落ちないようにレッグベルトの張りを調整して取付ける。(P.51)



警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。



警告

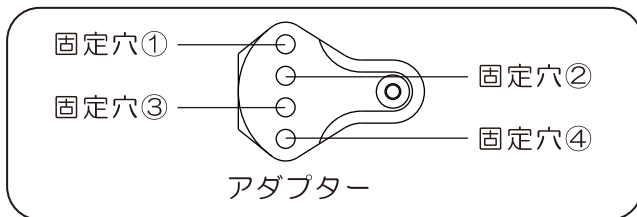
必ず取付けボルト2本で固定する。
* 固定力が低下し、ケガや車いすの破損のおそれがあります。必ず取付けボルト2本で固定するようにしてください。



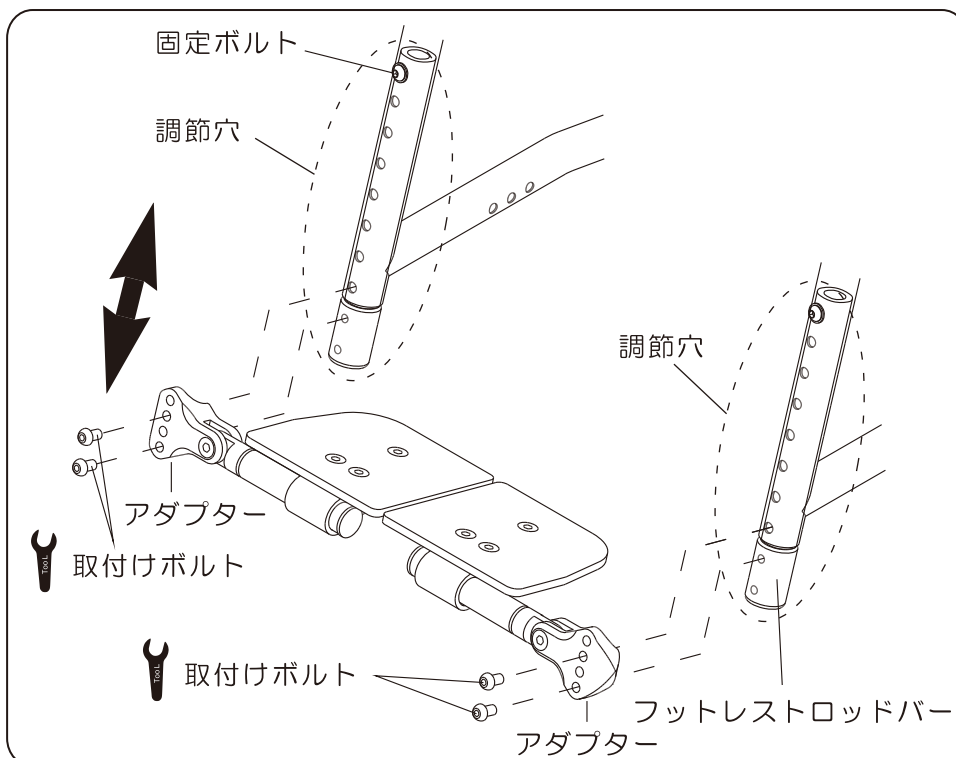
注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さになるように調節する。
* 車いすが破損するおそれがあります。
* 左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でアダプターの位置を確認してください。

取付けボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)



【図2-3】



【図2-4】

フットレストの調整・点検

＜ハイマウントフットレストの調節可能範囲＞

【図2-5】【図2-6】【図2-7】

ハイマウントフットレストの調節可能範囲は、次の通りです。

最上位置：アダプターの固定穴②と調節穴①及び固定穴④と調節穴②が重なる位置【図2-6】

最下位置：アダプターの固定穴①と調節穴⑨及び固定穴③と調節穴⑩が重なる位置【図2-7】

※固定ボルトが邪魔になる場合は、固定ボルトの位置を変えてください。

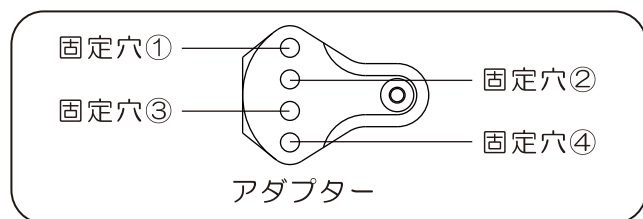
警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

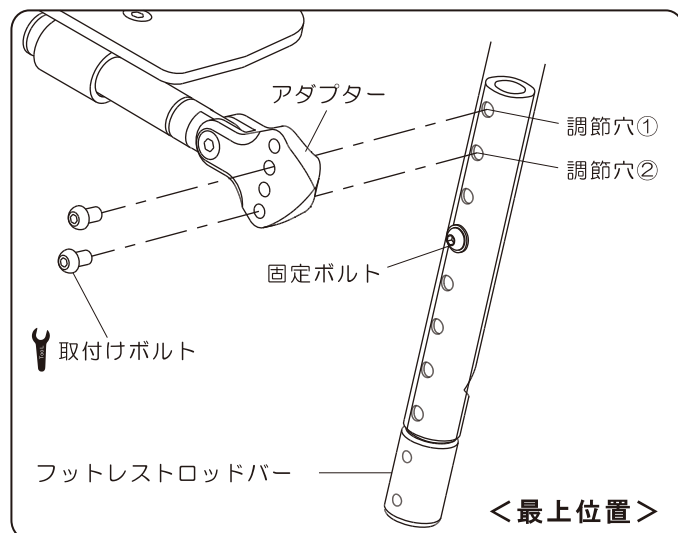
注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さになるように調節する。
* 車いすが破損するおそれがあります。
* 左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でアダプターの位置を確認してください。

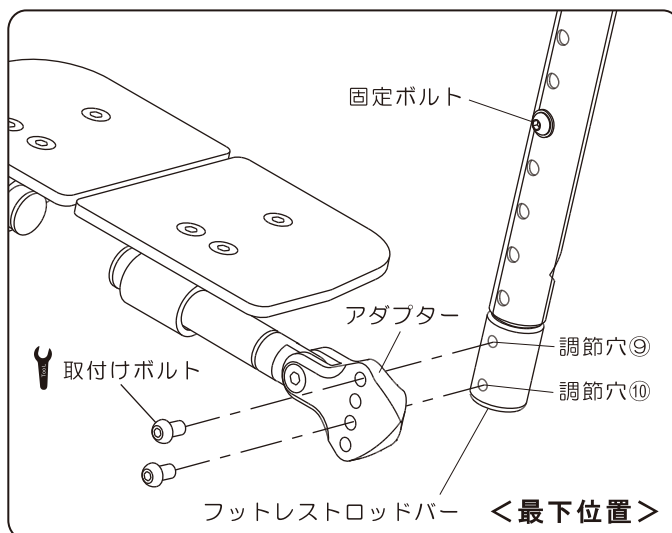
取付けボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)



【図2-5】



【図2-6】



【図2-7】

フットレストの調整・点検

<フットプレートの角度調整>【図2-8】【図2-9】【図2-10】

- 1) ①②ボルトを緩める。
- 2) フットプレートを最適な角度にする。【図2-10】
- 3) ①②ボルトを交互に繰り返し締める。
※交互に繰り返し締めないと確実に締まりません。
- 4) 左右同様にする。
- 5) フットプレートと地面の間隔が十分確保できているか確認する。
- 6) 車いすを折りたたみ、左右のフットプレート同士が接触していないか、またフレームに接触していないか確認する。

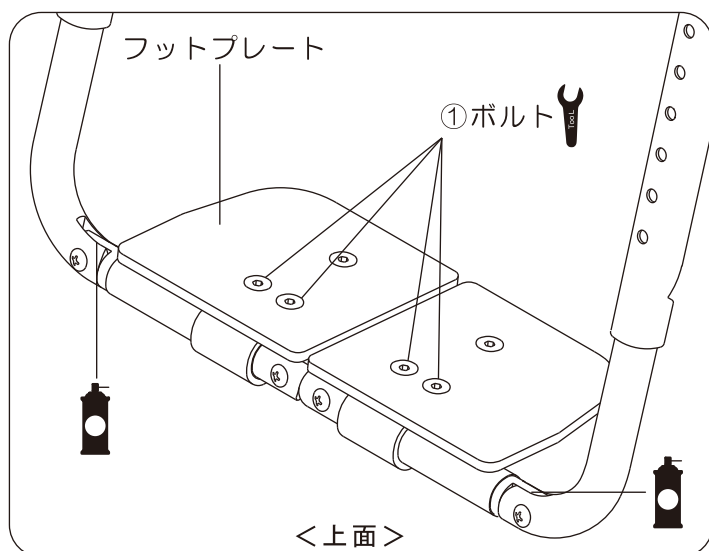
警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

注意

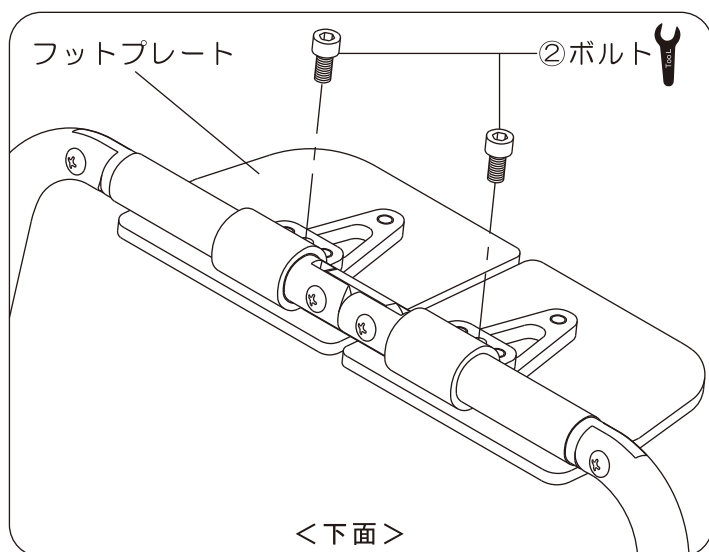
車いすを折りたたんだ状態でフレームや左右のフットプレート同士が接触した状態では使用しない。
* 車いすが破損するおそれがあります。
* 調整後は必ず確認してください。

- ①ボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)
②ボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)



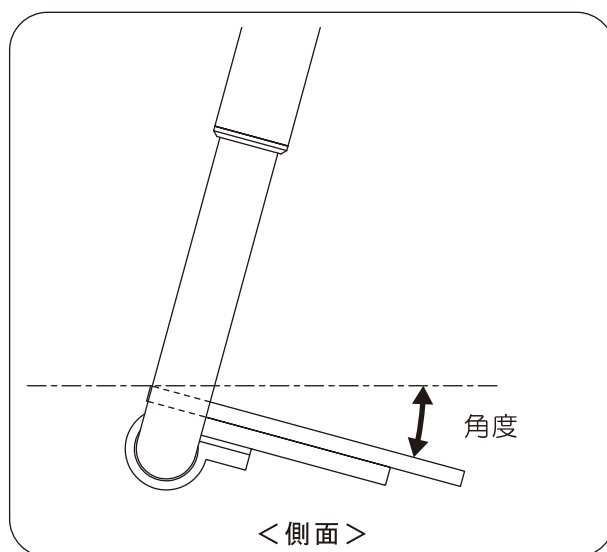
<上面>

【図2-8】



<下面>

【図2-9】



<側面>

【図2-10】